

令和3年度 第1回 大阪府立島本高等学校 学校運営協議会 議事録

○委員構成（敬称略）

向井 秀幸（短期大学講師）、三上 裕貴（地元中学校首席）

花田 純子（地元民生委員児童委員協議会委員）、石橋 孝之（地元中学校教頭）

織 晃久（本校同窓会副会長）、山縣 薫（本校PTA会長）

伊藤 慎司（本校校長）、藤井 貴英（本校教頭）、田上 一文（本校教頭）

瀧澤 昭友（本校事務長）、佐々木 哉司（本校首席）、札木 理（本校首席）

○日時：令和3年6月25日（金）14:00～

○場所：会議室

○内容：14:00～14:25 学校運営協議会①

14:25～15:15 授業見学

15:25～17:00 学校運営協議会②

○出席者（敬称略）

向井 秀幸、三上 裕貴、石橋 孝之、織 晃久、山縣 薫、伊藤慎司、藤井 貴英、

田上 一文、瀧澤 昭友、佐々木 哉司、札木 理、丸山 栞和（記録）、

溝口真美（記録）

1. 会長挨拶

2. 校長挨拶

3. 議案

（1）令和3年度 学校経営計画について

（2）令和2年度 進路状況について

（3）令和2年度 生徒指導状況について

（4）授業アンケートについて

4. その他

5. 質疑応答及び意見交換

【質問】学校経営計画及び学校評価の中期的目標の登校遅刻数を5,000名以下にする。とあるが令和2年度は3,970名となっており目標を達成できているのに、5,000名とい

う数字でよいのか。また資料と数字が違うのはなぜか。

【回答】令和2年度はコロナの為、4.5.6月の2か月半休校であり活動がなかったため、登校遅刻者数をカウントしていなかったなのでこの数字になった。資料との違いは、統計の仕方や累計の仕方に違いが生じたためと思われる。学校経営計画の数字を参考にしていきたい。

【質問】令和2年度の数字は参考にはならないのか。

【回答】コロナ禍だったので、数字のみでの判断は難しい。

【質問】学校経営計画の中期的目標にあるGIGAスクール構想を踏まえた学習の取り組みとあるが現在教員のタブレットの活用はどうでしょうか。

【回答】現在は各教室にプロジェクターが設置されていないので、教員が持って行ってセットして見せているという状況である。また、すぐに使えるのであれば使いたいという教員もいるので、研修を行いながら今後はすべての授業で活用してもらえるように環境設備を行っていく。

【質問】45期生、46期生の進路決定状況、進路希望状況で未定の生徒がおり、女子の方が多きがどうということか。また未定の生徒は進学・就職に落ち着いていくのか。

【回答】女子の方が多くなっているのは、女子生徒の方が在籍数も多いからである。未定の中にはフリーターをしながら夢を追いかけるといった場合が多い。何も考えていない生徒はいない。進路を決めていく三者懇談を7月に行っている。

【質問】コロナ禍で進路が未定または迷っている生徒はうまくスタートダッシュができなかったと思うがそうした生徒にはどのような指導・支援を行っているのか教えてほしい。

【回答】自分の進路にむけて大学・短大・専門学校・企業等への見学を行い、7月の懇談で生徒の気持ちを大切にしながら進路決定に繋げている。また早い段階で進路への意識付けを行い、進学希望の生徒には入試制度の説明や今後の動き、またスケジュール等の管理や情報収集などをサポートしている。

【質問】保育専門コースを卒業した生徒の進路先はどういったところか。保育の仕事に就いているのか。

【回答】選択生徒の約半分が幼児教育、保育系の学校専門学校に進み、保育士として働いている生徒もいる。

【質問】登校遅刻回数が令和元年と比べ令和2年にはかなり減っている。また令和元年と平成30年ではあまり差はないが減少している。教員はどのような指導を行っているのか。

【回答】懲戒指導を含む段階的な指導を実施しながら、家庭との連絡を大事にしている。学校と家庭からのアプローチを行うことで生徒への登校遅刻の意識付けを行っている。

【質問】頭髪指導はどのように行っているか。難しい点があるように思うが、それはどう

か。

【回答】地毛登録制度があり、入学時に撮った写真を基準とし、家庭と確認を行いながら指導している。また中学校との連携や家庭との丁寧な話し合いをすることで納得感は得られていると感じている。

【質問】中学生や保護者に卒業後の進路についてどのように説明をすればよいか。

【回答】進学希望生徒は指定校推薦が多い。振り返り学習を行いながらの授業となり一般入試対策のための学習時間が取れない生徒も多い。ただ、過去には国公立大学や公募制推薦で進学した生徒もあり、科目数を絞って、早めに対策を行うことで大学・短期大学への受験は可能である。そのための助言を行っている。

【質問】授業アンケートの結果や意見はどのようにフィードバックされているのか。

【回答】学校全体の平均と個々の授業の評価はフィードバックしている。結果から自分の授業の癖などを振りかえり、自己申告票の目標や努力目標に設定することで自己改善につなげている。

<授業見学>

- ・昨年来た時よりも学校がきれいだと感じた。特に床は掃除が行き届いている。気になったところは天井や壁に画びょうがあること。教室が広々と使えて授業に集中しやすい環境だと思った。中学校の懇談で保護者から島本高校の雰囲気聞かれることがあるが、今日の授業風景を見て落ち着いていると伝えたい。
- ・生徒数が約 290 名で学校の雰囲気は落ち着いていると感じた。数学の授業では1クラスを半分に分けるなどの対応をしており、一人ひとりに目が届きやすく丁寧な指導ができていると感じた。こうした少数クラスで授業を行っていることを島本高校の強みとして外へ発信してみるはどうか。こうした丁寧な指導が指定校推薦や生徒の希望する進路へと繋がっているのだと感じた。